

安全と安心をもたらす 1 枚の看板

高さ制限板の取り付け

最近の自動車はユーザーのニーズに合わせて多種多様になっています。さまざまなパーツが取り付けられ、寸法も車検証のとおりになっていないケースも多く見られます。そのような流れの中で立体駐車場管理者の皆さんもたいへんな思いをしているのではないのでしょうか。

車の高さを見て駐車場に入れることができるか迷ってしまったことはありませんか？
車検証を見たら入庫できる寸法だったのに、実際は入らなかったことはありませんか？
入庫できる車の判断を確実にするために、駐車場入口に高さ制限板を取り付けてはいかががでしょうか。



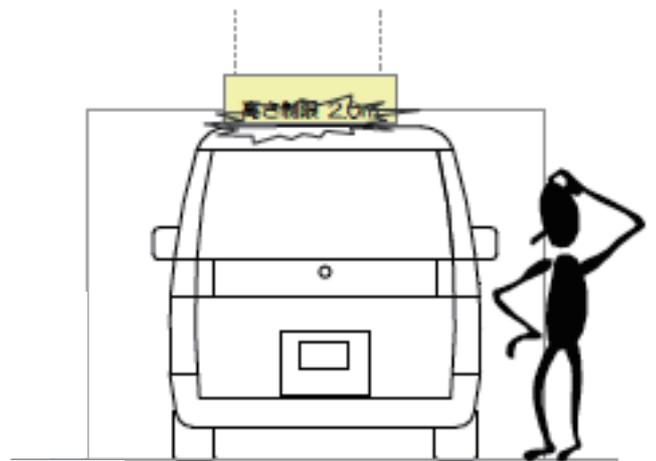
<設置内容>

高さ制限板は、入庫できる車の高さを表示する看板ですが、看板自体が制限される高さに合わせて取り付けられています。制限より高い車や、ルーフキャリアを付けた車、アンテナを下げ忘れた車などが駐車場に入ろうとすると、制限よりはみ出した部分が看板に当たることで、入庫の可否が判断できます。看板に当たることで、「この車は入れない」ということをドライバーや管理者が判断することができますし、アンテナの下げ忘れ等を知らせることもできます。簡単ですが、駐車場内に設置されたセンサーの補助として安全対策上非常に有効な手段です。

さらに、看板にスイッチ、センサー等を組み込んで、車が当たったときに警報を出したり、機械の運転始動をできなくさせるといった機能を組み合わせることも可能です。



※仕様により写真とは異なる場合があります。(写真はリミットスイッチ取付タイプ)



看板を取り付けるだけで機械と車の接触事故防止に役立ち、安心して入庫の判断が簡単・確実にできます。安全対策の一環としてぜひともお勧めいたします。

※本装置は事故防止にたいへん有効ですが、入庫前の目視による安全確認は従来どおり必ず行うようお願いいたします。